

船舶事故調査報告書

令和4年8月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	養殖施設損傷
発生日時	令和3年12月26日 06時15分ごろ
発生場所	大分県津久見市津久見港東方沖 津久見港千怒 ^{ちぬ} A防波堤灯台から真方位187°270m付近 (概位 北緯33°05.1′ 東経131°53.0′)
事故の概要	貨物船第三百三十六鳳 ^{ほうせい} 生丸は、錨泊中、走錨して養殖施設に衝突し、同施設が損傷した。
事故調査の経過	令和4年2月2日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 第三百三十六鳳生丸、499トン 134432、宗田造船株式会社、和幸船舶株式会社（船舶借入人）
乗組員等に関する情報	船長、五級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 なし 養殖施設 木枠の筏に破損及び鋼管製枠の筏に曲損等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 4～7（乗組員の走錨時の観測値、風速 約15m/s）、視界 良好 海象：波高 0.5m、潮汐 上げ潮の初期 日出時刻：07時13分ごろ 津久見市には、12月24日10時58分に強風注意報が、また、16時14分に波浪注意報がそれぞれ発表され、本事故当時も継続中であった。
事故の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、津久見港での積荷役開始時刻まで待機する目的で、強風及び波浪注意報が発表されている状況下、港外の水深が約29mで底質が泥と砂の場所にJIS型で約1.7tのストックレスの右舷錨を投下し、錨鎖を海中に4節（約100m）伸出して錨泊を始め、船長が守錨当直について。 船長は、守錨当直中、北西の風が弱まって風速が6～9m/sとなったので、走錨の危険はないと思い、守錨当直を止めて降橋し、船橋を無人として自室で就寝した。 船長は、約2時間後、積み地へ連絡する目的で昇橋したとき、本船が南東方へ走錨していることと養殖施設に接近していることに気付く、主機を始動したものの、どうすることもできず、本船の左舷船尾が養殖施設に衝突した。 船長は、過去に津久見港内で右舷錨を投下して錨鎖を4節伸出して

	<p>何度も錨泊し、走錨した経験がなかったので、本事故当時、当初、養殖施設西方の港内で錨泊したものの、走錨を認めたので抜錨して北西方へ移動し、養殖施設から十分に離れていると思い、港外に錨泊した。</p> <p>船長は、強風及び波浪注意報が発表されていることを知っていたものの、北西の風が弱まったので油断してしまい、守錨当直を止め、船橋を無人としたが、守錨当直を続け、錨鎖を5、6節伸出すれば良かったと本事故後に思った。</p> <p>船長は、本事故当時、文献等で風速20m/s のときには錨鎖を水深の3倍に90m加えて伸出した方が良いということは知っていたものの、国土交通省が提供する走錨リスク判定システム（通称：錨ing（イカリング））については知らなかった。</p>
<p>分析</p>	<p>本船は、津久見港東方沖において、強風及び波浪注意報が発表されている状況下、船長が、右舷錨を投下して錨鎖を4節伸出し、走錨の危険はないと考え、船橋を無人にして錨泊を続けたことから、北西風が強くなり、係駐力を上回る外力を受けて南東方へ走錨し、船橋が無人で走錨に気付くのが遅れ、養殖施設に衝突して同施設を損傷したものと考えられる。</p> <p>船長は、強風及び波浪注意報が発表されていることを知っていたが、過去に津久見湾では右舷錨を投下して錨鎖を4節伸出して錨泊し、走錨した経験がなく、錨地を変更後、守錨当直中に風が弱まったことから、同じ錨泊状態でも走錨の危険はないと思い、守錨当直を止めて船橋を無人とし、同じ状態で錨泊を続けたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、津久見港東方沖において、強風及び波浪注意報が発表されている状況下、船長が、右舷錨を投下して錨鎖を4節伸出し、走錨の危険はないと考え、船橋を無人にして錨泊を続けたため、北西風が強くなり、係駐力を上回る外力を受けて南東方へ走錨し、船橋が無人で走錨に気付くのが遅れ、養殖施設に衝突して同施設を損傷したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、強風注意報が発表されている状況下、錨泊する場合、走錨リスク判定システムなどを活用して十分な係駐力を確保すること。 ・ 船長は、気象の変化に対応するため、守錨当直を配置し、レーダー等を活用して適宜船位を確認し、必要に応じて錨鎖の伸出、振れ止め錨などによる十分な係駐力の確保を図り、早期の主機の使用など、走錨に備えること。